

視度調整



目的

屈折異常の微調整をして、ピント合わせが必要な検査の誤差の最小化

準備物 白い紙

電源スイッチをONにする

視度環を左に充分まわし、
接眼レンズを引き出す



微調整でしかないので、
検者は屈折矯正しておくこと。
(特に乱視)

対象レンズ筒に必要な場合は白い紙を保持し、
両眼開放にて接眼レンズをのぞき目盛線が
最も鮮明に見えるまで視度環を+ -へ少し
ずつつまわし、鮮明になったらすぐに止めること
を何回か繰り返して無調節位置に合わせる



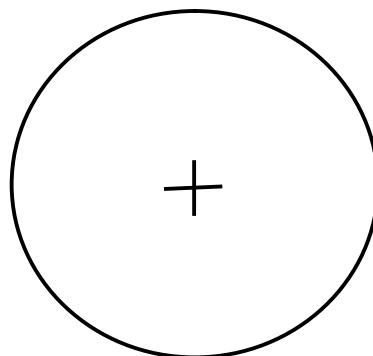
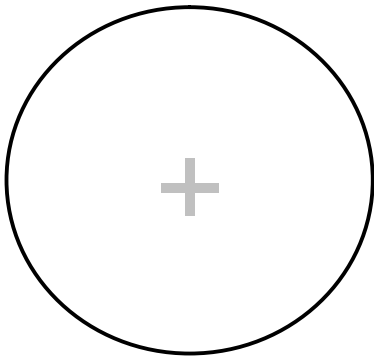
最初は目標のみ見ることからはじめ、
両眼を開眼して、他眼は数字などの記載ができ
るようになる練習をすること。

目盛がある場合視度環の数字を覚えておく



次回からの視度調整を省く為だよ！

例) ケラト(オフサルモ)メーター



ピントがあった状態